

遊びから学びへ

環境構成の工夫



トイレの掲示物の工夫

上級生の手伝いの見直し(給食)



給食始まりから自分たちで配膳

例年は6年生が配膳していたが、できるだけ自分たちでできるようにした。おかずを平等に分けられなかったりこぼしたりしたときは、担任や他の教員のサポートが必要ではあるが、自分たちで配膳することへの憧れの気持ちを大切に。6年生には、牛乳パックや食器の片付け方等必要なところだけを教えてもらうようにした。

小学校の1日の流れや生活の仕方を知るための工夫

- 安心して学校生活を送れるようにするための環境の見直し(掲示物の工夫)
- 保育園や幼稚園での生活経験を活かした当番活動
- 必要に応じた上級生の手伝い
- 複数の教員のサポート
- 下校指導 等

小学校生活を見据えた基本的な生活習慣の確立

- 持ち物の整理整頓
- 活動の間にトイレをすます
- 姿勢指導や保健指導
- 当番活動の充実
- 1日の大まかな活動の流れの提示 等

【授業内容の工夫】

☆音楽☆
初めて聞く小学校の「校歌」からではなく、主に保育園や幼稚園で歌ってきた歌や手遊びを取り入れ、安心して楽しめるように工夫した。出身園で振りが違うことに気付いた児童に、「どうやるの?」と投げかけることで児童同士が教え合う姿も見られた。
また、これまで5時間目に入れることが多かった音楽を月曜日の1時間目を実施し、1週間の始まりを無理なくスタートできるようにした。



歌やダンス

自然との遊び

音楽の授業の工夫

遊びや活動を通じた園児の学び

- 協同的な遊び
- 身近な自然との関わり
- 様々な表現活動
- 運動遊び
- 絵本や物語に親しむ 等


ペア学習「あわせていくつ」

【朝の会の工夫】

朝の会で「げんきしらべ」と称して挨拶と返事をするようにした。また、簡単な自己紹介を取り入れたり、おもちゃのマイクを使ったりしながら、遊び感覚で楽しく活動できるように取り組んだ。マイクを順番に渡す際に、「はいどうぞ」「ありがとう」等のやりとりも自然と生まれた。互いのことを知り、友達と仲良くなったりするきっかけになった。

【朝の会の工夫】

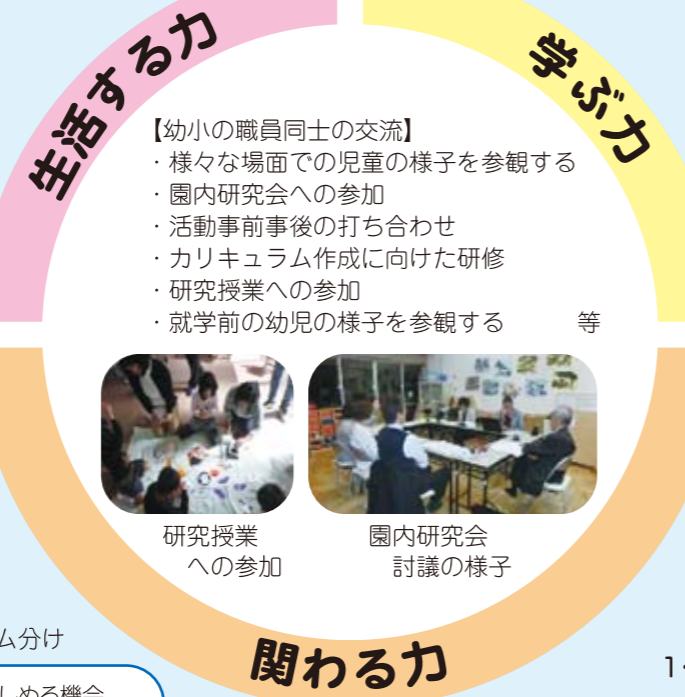
隣の保育園・幼稚園との交流「ともだちひろば」



他園児とサッカーのチーム分け

様々な人との関わりを楽しめる機会

- 入学時に、新しい友達がたくさんいる環境に戸惑わないように、他の保育園・幼稚園の園児と交流する機会を継続してもつ。
- 1年生、5年生との継続した交流の機会を大切にする。 等



【幼小の職員同士の交流】

- 様々な場面での児童の様子を参観する
- 園内研究会への参加
- 活動事前事後の打ち合わせ
- カリキュラム作成に向けた研修
- 研究授業への参加
- 就学前の幼児の様子を参観する 等

【2年生との交流】

1年生にとっては、身近で頼れる2年生のお兄さんお姉さんと一緒に学校探検をしたり名刺交換会をしたり一緒に遊んだりすることで、学校に親しみをもち学校生活に馴染みやすくなる。

2年生にとっては、学年が上がったことを自覚し、1年生に優しく接していこうという気持ちをもって取り組むことができる。

6年生との交流



入学式(6年生と一緒に入場)

名札付けの手伝い

クラスの友達や上級生に親しみを持ち、学校生活を送る楽しさを味わうための工夫

- 朝の会の進め方の工夫(げんきしらべ 等)
- 遊びの時間の確保
- 必要に応じた上級生の手伝い
- 2年生との継続した合同授業 等

5年生との交流




給食体験

1年生との交流




ドングリ転がし作り

一日体験入学の工夫




研究授業への参加




園内研究会討議の様子

鉛筆の練習(2年生)



あきまつり



2年生との交流

- 学校探検、名刺交換会
- 遠足
- 運動会運動表現
- あきまつり(幼稚園児、保育園児と一緒に) 等

【2年生との交流】

1年生にとっては、身近で頼れる2年生のお兄さんお姉さんと一緒に学校探検をしたり名刺交換会をしたり一緒に遊んだりすることで、学校に親しみをもち学校生活に馴染みやすくなる。

2年生にとっては、学年が上がったことを自覚し、1年生に優しく接していこうという気持ちをもって取り組むことができる。



期待いっぱいの1年生!! 嬉しい気持ちもいっぱいだが、新しい環境に戸惑う姿にも出会った。改めて幼小接続の必要性を感じ、幼稚園の生活や遊びが小学校生活にどのように繋がっていくのかについて考えた。そして、「つなげたい3つの力」の視点から幼・小で話し合いをし、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの作成に取り組んだ。これらの成果を多くの子どもたちの笑顔につなげていきたい。

幼小接続事業に取り組む中で

子ども

- ◎幼児にとって、小学校への憧れが増え、不安感が解消されやすくなる。
- ◎児童にとって、入学生への関心が高まると共に、その関わり方が優しくなる。

教職員

- ◎子どもの発達段階を知ることで、子ども理解が深まる。
- ◎互いの教育を理解することで、教育観が広がる。

保育・授業

- ◎幼・小の接続を意識しやすくなる。
- ◎授業内容や時間割の工夫等、幼児・児童の実態に合わせた保育・授業に取り組みやすくなる。

成果と課題

- ・「つなげたい3つの力」をもとにカリキュラムを作成し、幼稚園・小学校のそれぞれの生活を併記することで幼小の繋がりがより分かりやすくなった。
- ・幼稚園で経験したことが小学校の生活や授業のどのようところで活かされるのかを考えたことで、児童が無理なく学校生活に慣れ楽しく学習に向かう土台作りができたのではないかと考える。
- ・担当の教員だけでなく、幼稚園・小学校全体で接続期カリキュラムの重要性を共有するとともに、近隣の保育園等にも啓発していくことが今後の課題である。

各項目におけるポイント

ねらい

ねらいを、「3つの力」に分類して記載している。

つなげたい3つの力	△生活する力 基本的な生活習慣(健康)生活態度(ルール)食事排泄	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
	☆かかわる力 挨拶、返事 伝え合い 人との関係作り	健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 言葉による伝え合い 思考力の芽生え
	◎学ぶ力 意欲的に遊ぶ身近な環境へのかかわり(自然、数量、文字等)身体を動かして遊ぶ様々な方法で表現する力(絵画、製作、歌、言葉等)	自然との関わり・生命尊重 数量・図形、文字等への関心・感覚 豊かな感性と表現

幼小接続における具体的な指標である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明記すると共に、幼稚園での生活や遊びを通して育んだ「3つの力」と、小学校入学当初に培いたい「3つの力」との関連を、より分かりやすくするために「つなげたい3つの力」として併記している。

主な活動と内容

△生活する力
☆かかわる力
◎学ぶ力

内容についても「3つの力」に分類して記載している。

幼稚園では、生活や遊びを通して総合的に「3つの力」を育み、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が個々に育つように取り組んでいる。

留意点

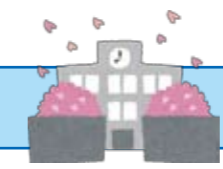
環境構成



矢田南幼稚園

10月中旬から3月

卒園・入学



矢田南小学校

4月～5月中旬

- △季節に応じた健康習慣が分かり、落ち着いた生活を送る。
- ☆共通の目的に向かって協力しながら活動に取り組み、自信や充実感を味わう。
- ◎季節の移り変わりに興味や関心をもち、その変化や美しさに気付く。
- ◎入学への期待や自覚をもち、修了に向けた活動や行事に意欲的に参加したりする。

- ・健康的な生活に気を付けるようにする。(手洗い、うがい、衣服の調節 等)
- ・活動と活動の間にトイレに行ったり、時間を意識して行動しようとしたりする。
- ・片付けや持ち物の整理等、自分から進んできちんと始末する。
- ・当番活動を通し、自分の役割を責任をもって行動しようとする。
- ・マナーを守って一定時間内で食事をする。
- ・自分の思いを伝えたり、相手の伝えたい思いを受け止めて聞いたりする。
- ・地域の人や小学生、他の保育園や幼稚園の幼児との関わりを通して、相手を思う気持ちをもつ。
- ・絵本や物語を見たり聞いたりして、想像する楽しさを友達や教師と共有する。
- ・友達と相談したり協力し合ったりしながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ・お世話になった方に感謝の気持ちを伝える。(修了式等)
- ・身近な自然に興味や関心をもち、その変化や美しさ等気付いたことを友達や教師に伝え合い共感し合ったり、遊びに取り入れたりする。
- ・感じたことや思ったこと等を、いろいろな方法で素直に表現する。
- ・戸外で体を動かし、進んでいるいろいろな運動を楽しむ。
- ・音楽に親しみ、みんなと一緒に歌ったり様々な楽器を使って音色やリズムを楽しんだりする。
- ・絵本や物語に積極的に親しみ、自分の思ったことや考えたことを意欲的に表現する。

- アプローチカリキュラム**
- ①小学校生活を意識した生活の工夫
 - ②協同的な遊びや体験の充実
 - ③様々な人との関わりを楽しめる活動
 - ④学びの芽を大切に活動の充実
 - ⑤就学への期待をもつ活動の充実
 - ⑥家庭と小学校との連携

活動	○ごっこ遊び(お店屋さんごっこ、葉っぱ温泉、郵便ごっこ、学校ごっこ 等) ○運動遊び(跳び箱、鉄棒、縄跳び、サーキット 等) ○描いたり作ったりする ○楽器遊びをする【音楽会】 ○自然に親しんで遊ぶ(秋:虫取り、木の実・木の葉集め 等、冬:霜柱等を見つける、氷を作る 等) ○栽培活動をする(冬野菜、球根の栽培 等) ○お正月遊び(カルタ・こま回し・凧あげ・羽つき 等) ○物語の世界で遊ぶ【物語に出てくるものになって遊ぶ、遊びに必要なものを作る【生活発表会】】 ○様々な人との関わりを楽しむ(ともだちひろば、初詣、キッズサッカー、英語で遊ぶ、矢田南レンジャー 等) 等
内容	△病気や怪我等の予防に関心をもち、健康な生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付ける。 △1日の生活の見通しをもち、時間を意識して行動する。△当番活動や先生の手伝い等を積極的に行う。 △背筋を伸ばす、椅子に座る等正しい姿勢に気を付ける。☆自分の考えを相手に分かるように言葉で伝える。 ☆自分の気持ちを伝えたり、相手を受け入れたりしながら、友達と分担したり協力したりして遊びを進める。 ☆様々な人との交流を楽しみながら、相手を思う気持ちをもつ。 ◎心を動かされるような体験をしたり、友達と一緒に楽しむ活動をしたりする。 ◎日常生活に必要な文字や数字、標識に興味をもつ。 ◎身近な動植物や自然現象に関心をもち、季節の変化や自然の不思議さを感じたり遊びに取り入れたりする。 ◎自分の思いや考えを様々な方法で表現したり、友達と一緒に生活発表会を作り上げる喜びを味わったりする。

- ◇うがい・手洗いを丁寧にし、天候や活動内容に応じ、衣服の調節ができるように声をかける。
- ◇思いや目的を共有して協同的な遊びが進められるように、遊びの後の話し合いをしたり、集団遊びを多く取り入れたりする。
- ◇様々な年代の人との交流を楽しむ機会を多くもつ。
- ◇幼児の主体性を大切にし、自ら工夫をしたり、友達と一緒に相談したりしながら遊び方やルールを考えていくようにする。
- ◇身近な自然の変化や事象に触れる機会を逃さないようにし、実際に見たり触れたりする場を多くもつ。
- ◇小学校生活に触れた絵本等を読んだり、小学校のトイレを利用する機会をもったりする。
- ◇小学校施設を利用した活動や、児童との交流の機会を継続してもつ。
- ◆時間を意識しながら生活できるように掲示物を工夫し、1日の大まかな時間の見通しをもたせる。

- △学校の様子や生活の仕方を知る。
- ☆教師や友達、上級生等に関心をもち、共に生活を送る楽しさを味わう。
- ◎学習の準備の仕方や、授業中の約束事を知る。
- ◎文字や数の読み書きを楽しく学ぶ。

- ・健康的な生活に気を付けることができるようになる。(手洗い、うがい 等)
- ・時間割やチャイムに合わせて行動する。
- ・自分の持ち物の整理整頓の仕方が分かる。
- ・給食の配膳や食事の流れが分かる。
- ・当番や係活動、掃除の仕方が分かる。
- ・教師や友達に親しみの気持ちをもって挨拶をする。
- ・教師や友達、上級生に関心をもち、進んで関わろうとする。
- ・自分の思いを伝えたり、困っていることを話したりする。
- ・友達の思いを知り、仲良くしようとする。
- ・順番やルールを守って、友達と一緒に遊んだり活動したりする。
- ・自分の席で学習する楽しさを味わう。
- ・自分の考えや感じたことをのびのびと表現する。
- ・遊具等の使い方を知り、安全に大切に使用しようとする。
- ・文字や数字に興味をもち、使うことに喜びを感じる。
- ・友達と一緒に歌ったり、体を動かして楽しく運動したりする楽しさを味わう。

- スタートカリキュラム**
- ①生活科を核とした総合的な指導
 - ②遊びを取り入れた楽しい活動
 - ③時間配分の工夫
 - ④環境構成の工夫
 - ⑤複数の教員や上級生によるサポート
 - ⑥児童が学校生活に馴染めるようになるための行事の工夫

学校行事 主な活動	・入学式(6年生) ・名刺交換、学校探検、遠足(2年生) ・1年生を迎える会(全校児童) ・分団下校(地域)
生活科を核とした活動	生活科(A) 道徳(B) 特別活動(C) 他教科(D) △ 健康な生活に必要な基本的な生活習慣(トイレの正しい使い方を知り、適切な時間に行く。手洗い・うがいの効果を知る。衣服の着脱や気温に応じた調節等) A B C D △ ◎チャイムの合図で休み時間、授業時間の気持ちの切り替えをする習慣を付ける。 A C D △ ◎自分の机を大切に、机の中や周りを整理整頓する。 B D △ ◎給食当番・掃除当番・係活動に責任をもって積極的に取り組む。 A B C △ ☆◎異学年との交流や活動を通し、学校の一員として共に生活する喜びを感じる。 A B C D ☆◎TPOに応じた声の大きさを知り、すすんで返事や挨拶ができる。 A B C D ☆◎順番やルールを守り、友達と一緒に学習や活動をするを楽しむ。 A B ☆◎初めて習う文字や数字の習得に喜びを感じ、それを使って学習することの楽しさを味わう。 A D

「3つの力」を総合的に指導できるよう、それぞれの教科の中に意識的に取り入れている。

- ◇友達に親しみをもてるようにするために、朝の会の進め方を工夫する。
- ◇学校生活に慣れるまで、必要に応じて上級生が手伝いをする環境を整える。
- ◇子どもが下校に慣れるまで、安全を確保するために解散場所まで引率する。
- ◇授業や遊び、生活の中で、子どもができたことを認め、自信をもたせる。
- ◇年長児に交流のあった学年と進んで関わることができる活動を取り入れる。
- ◇幼稚園・保育園で行っていた遊びを取り入れ、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
- ◇授業の単位時間を短く区切ったり伸ばしたりしながら柔軟な時間割を進める。
- ◇子どもが学校・教科学習になじめるように、1時間目の授業内容を工夫する。(音楽、絵本の読み聞かせ 等)
- ◆教室やトイレの壁面を飾って楽しい雰囲気をつくり、安心できるようにする。
- ◆掲示物を工夫し、視覚的に示しながら指導する。

学習規律や授業時間等基本的なことは指導していくが、決まり事を徹底するのではなく充実感や達成感が味わえるように、児童の実態に合わせて授業内容を設定していく。

幼小交流の工夫

- 5-5交流(5歳児と5年生)や5-1交流(5歳児と1年生)の交流を積み重ねる。
・絵本の読み聞かせ ・就学時健康診断 ・給食体験 ・ドングリ転がし作り 等
- 小学校への期待が膨らむように保幼小で交流する機会をもつ。
・秋祭り(1,2年生、地域の保育園) ・1日入学の工夫(1,2年生)

教職員同士の交流

- 子どもの成長や課題について共通理解する。
・保育、授業参観 ・幼小連絡会 ・各行事への参加 等
- H30年4月施行の幼稚園教育要領について職員研修の機会をもつ。
・園内研究会や校内研修への参加

家庭・地域との連携

- 就学に向けての情報を伝えたり、保護者の疑問や不安に寄り添ったりする。
- 入学後の児童の様子を保護者に伝え、小学校と家庭が繋がる機会をもつ。
- 安全パトロール(子ども支援ボランティア)の方々等と連携し、登下校園時の安全を見守る活動の協力をお願いする。

保育園・幼稚園で経験したことを大切にしながら、この時期に培いたい「3つの力」について検討している。